佳作　（低学年の部）

いつもありがとう

広島県　三原市立久井小学校　三年

下（しも）　優太（ゆうた）

ぼくは、よくわすれるんです。持って行く物や、持って帰る物、物だけでなくて、おぼえてなくてはいけない色いろなことをわすれます。おぼえておかなくちゃと思っていても、気をつけておかなくちゃと思っていても、なぜか、わすれてしまいます。

ぼくは、字をうつすのもむずかしいです。見て、つぎに見ると、どこだったかわからなくなります。

ぼくは、ぼくがいやになります。どうしてもできなくて、ないてしまいます。

ぼくは、だから、ちゃんとできた時は、うれしくなります。とても、とても、うれしくなります。いつも、こうなら、いいのにと思います。

ぼくの家には、ホワイトボードがたくさんあって、わすれてはいけないことや物が書いてあります。これを見てチェックします。でも、見るのをわすれたりします。

ぼくは、できなくて、すごくいやになります。とてもむずかしいと思うことがいっぱいです。

家でぼくがなくと、お母さんは、ぎゅっとだきしめてくれます。いっしょに時間わりのじゅんびをしてくれます。帰る時、わすれものがあったら、

「じゃあ、とりに行こう。」

と言って、いっしょに、しょくいんしつの近くまで、行ってくれます。何どもあるのに、

「じゃあとりに行こう。」

と言って、いっしょにいってくれます。もうとりに行けない時には、書くノートだったらべつのノートをだしてくれて、

「これにすればだいじょうぶ。」

と言ってくれます。

ぼくは、いつも、ないて、いやになるけど、お母さんに、ぎゅっとだきしめられると、おちついてきます。お母さん、いつもありがとう。ぼくは、お母さんが、大好きです。